

## 競技注意事項

1 本大会は、令和5年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会規則及び監督会申し合わせ事項により行う。

2 招集について（招集所は 100m スタート地点横 スタンド下倉庫）

- (1) チェック開始時間から招集完了時間までに競技者係からアスリートビブス・名前・スパイクピンのチェックを受ける。チェック後は競技役員の指示に従う。
- (2) 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前

- (3) 招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。ただし他競技種目に出場中の競技者は、代理人が申し出ること。
- (4) リレーのオーダー用紙は招集場所で配付する。各学校は、競技開始 60 分前までに招集場所へ提出すること。

3 組み合わせ・走路・試技順

- (1) レーン順・競技順は、主催者が決定しプログラムに記載する。
- (2) トラック競技の決勝とフィールド競技の試技順は、本大会本部の抽選により決定する。
- (3) 予選がある種目については、タイムレース予選の全体上位 8 名を決勝進出者とする。ただし、1000 分の 1 秒まで計測し、同タイムの場合は抽選により決定する。

4 走高跳のバーの上げ方について

種別	練習	試技
男子	105 cm	110 cm から 5 cm きざみ 160 cm まで 以後 3 cm きざみ
女子	100 cm	105 cm から 5 cm きざみ 140 cm まで 以後 3 cm きざみ

※バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

5 ハードル競技のインターバルについて

性別	種目距離	ハードルの高さ	インターバル			
			スタートから 1 台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	ハードル台数
男子	110mH	91.4 cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0 cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100mH	76.2 cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2 cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

6 投てき種目の用具の重量について

男子の砲丸投は 5 kg、女子の砲丸投は 2.721 kg とする。

7 その他

- (1) スパイクは全天候型トラック用のピンとし、トラックは 7 mm 以下、フィールドは 9 mm 以下を使用すること。また、競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。ただし、フィールド競技用シューズの靴底の厚さについての規則については適用外である。
- (2) スターターのコールは英語（「オン・ユア・マークス」、「セット」）とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。
- (3) アスリートビブスは県中体連専門部より通知された番号を使用する。なお、トラックレース出場者は、大会本部から貸与される腰ナンバーを使用し、レース終了後直ちに返却すること。ただし、4 × 100 mR は 4 走者のみが腰ナンバーカードを使用する。
- (4) ウォーミングアップ場として補助グラウンドを開放する。なお、競技場内におけるスパイク流し程度のアップは認めるが、競技に支障がない時間帯のみとする。